

園名

安岐中央こども園

事例分類

衣類の洗濯業務をなくす等によるノンタクトタイムの確保

■ サマリー

課題

- ・保育事務作業の確保が難しい
- ・汚れ物（衣類）の洗濯等の業務の負担が多い

目標

- ・協力体制作りをし、時間確保をする
- ・衣類の洗濯業務を無くす

成果

- ・一日一人ずつではあるが交代にノンタクトタイムを取り事務作業をする（取れない日もある）

課題の詳細

- ・日頃残業することはないが、児童票、要録、アルバム作成等、**事務作業が多い時は、時間内に終わらせることが出来ず、時々残業してるが、それが当たり前になっている**
- ・**洗濯後、干したり翌日乾いてから畳み、仕分けしたりの作業が負担になる**

目標設定の意図

- ・午後からの時間は、**クラス関係なく、協力体制を取り、1時間や2時間のノンタクトタイムを取り、事務作業の時間を確保する**
- ・**洗濯は保護者の方に理解をして貰い、来年度より汚れ物は持ち帰るようにする**

取り組み内容 10月

今年度15時以降クラス単位で例えば「今日は〇〇組」と割り振りしておくとそのクラスの中で、交代にノンタクトタイムをとり作業をしていたが、産休の職員や行事の前になると、余裕がなくなり自然と取れなくなっていた。

取り組み内容 11-12月

- ・メンター園での視察内容について園長に報告をし、さらに職員間でも業務内容で大変なことはないか話し合った。
- ・12月は発表会の練習等、また産休に入った職員もいて余裕がなかった。

取り組み内容 1-2月

・14:00~16:00の2時間を交代でノンタクトタイムをとり、児童票の3期分を記入する時間を設け、出来るだけ勤務時間内に行うように職員全員で協力体制を取っていった。

・年長の担任は、卒園文集の作成があり毎年のように、2月3月は残業したり、持ち帰って作業することが当たり前になっていたが、**時間に余裕があるときは、優先的にノンタクトタイムを取り、時間内で仕上げるように意識改革**をしていった。職員間の協力体制が出来、余裕を持って作業が出来ている。

・**働き方改革の研修に参加したことで、職員間で業務内容を改めて話合うきっかけにもなり、一人一人が自分の意見を出し合える関係も出てきた**ようにある。